

ひろば大代

NO.435

大代まちづくり
センター

H27.10.23

大田市総合防災訓練を終えて

大田市総務部危機管理室長

藤原和弘

10月10日大田市総合防災訓練を旧大代小学校において実施いたしました。この防災訓練は各防災機関や民間協力団体と共同して実施することにより、災害時に迅速・的確に体制の確立を図るとともに、住民の災害時における心構えと防災活動に対する認識を深めることを目的として実施するものです。今回の訓練は、できるだけ多くの町民の皆様に参加してもらえよう避難救命法、搬送法、炊き出しといった体験型訓練を中心に計画いたしました。大代町は明治5年に発生した浜田沖地震で、大きな被害が発生したとの記録も残っていますことから、訓練は東南海地震を想定して行いました。地震は予測のつかない災害であり、東南海、

南海トラフ地震などでは、大きな被害の発生が想定されていることから日頃からの備えが重要になってきます。防災の心構えを説く「居安思危」という句があります。

居安思危 安きに居りて危うきを思う

思即有備 思えば即ち備えあり

有備無患 備えあれば患い無し

この句の意味は、「平安無事の時に、危険に備え、用心を怠らず、心配りをするということが既に備えとなり、準備を怠らなければ、いざという時あわてずに済む。」というものです。日頃から災害に対して思いを巡らしておいていただくとともに、今回の避難訓練で明らかになった課題や今回訓練ができませんでしたが、避難の際に支援の必要な方の避難支援について、自主防災会、自治会において話し合ってください、今後に活かしていただければ今回の訓練が有意義なものになると思っています。今回の訓練は、大代町の皆様をはじめ、関係機関のご協力のもと、無事に終えることができました。このことに対しまして、厚くお礼申し上げます。

もに、今後とも安全・安心なまちづくりへの協力を賜りますようお願い申し上げます。今回の訓練のまとめと致します。



AEDの使い方を教えて頂きました。

防災訓練を体験して

大代町自主防災会会長 大場清志
10月10日朝8時地震が起きた事を想定して大田市主催の防災訓練が行われました。町民の皆様150余名の参加をいただき有難うございました。

被災地での体験談、煙体験、消火器

を使用した消火体験、担架を作ったの搬送法、AEDを使用した甦生法等色々参考になった事と思います。実際の災害時に於いては、知っているといないでは大きな違いとなるでしょう。

一早い人命救助、AEDの使用は時間との戦いです。迷わず使っていたください。そして被災時はその状況に応じてより安全な場所に避難する。今回は地震想定での訓練でしたが災害は色々な形で起こります。台風・水害・土砂災害・火山活動・津波・落石・大雪・火災等々、我が町「大代町」で考えられるのは……？津波・水害等、大代町全体に被害が及ぶようなものは考えにくいと思います。過去にも大きな災害は発生していないと思います。それぞれに土砂災害等の発生はありますが。その対応には個々の経験が生かされている事と思います。

さて大代町には自主防災会が有りません。残念ながら現在機能しているとは言えません。個々の防災意識はあっても町全体のものは成っていません。目立った活動も行っていないのが現状です。今後大代町全体で取り組むのか、

各自治会で個々に取り組み、その集団として確立するか、自主防災会の在り方について考え見直す必要があると思います。皆様の御意見をお聞かせ下さい。



消防車による一斉消火放水

災害は時と場所を選びません。自分の体は自分で守るのが原則ではありませんが被災時にどう判断するか、それが生死を分けます。日頃から防災意識を持つ事は大切です。

今回の防災訓練は、その意識を新たにする意味でいい機会に成った事と思います。自然災害を完全に防ぐ事は出来ません。その時にどう対処し、どう助け合うか、皆様と一緒に考え活動し災害に負けない町を作っていきましょう。

防災訓練に参加して

椿 花田時子

車の前面に防火訓練防と貼り付けて出発し、四日市集会所に着く。近くの自治会長さんの顔が3、4人見える。椿の自治会長さんが大代まちセンへ電話をしている。「はいはい。分かりました。」「これから小学校へ行きます。」との声にせかされて出発だ。小学校にはすでに消防、警察、防災会の人達が居られ、係の指示に従い駐車した。

体育館には多くのイスが並べられてあり、私達は自治会毎に縦一列に並んだ。隣自治会には私の知らぬ男性も居られた。市長さんの挨拶に続き、東日本震災にボランティアで行かれた太田明夫さんのお話は避難所でアンパンマンの歌が多くの人をなごませたと語られた。救急法の体験ではAEDの使い方、搬送法には毛布と竹での担架、衣服と竹で担架、障害者の後ろから抱きついて腕をつかみ、もう一人が足を持って運ぶ方法、毛布にくるんで引く張って動かす方法があり、私は中に包まれて引く張ってもらった。担架の片方

を持たせてもらったが、かなり重くていざという時が心配になった。

煙体験では以前は壁伝いだだったが、今回は前の人の腰のベルトをつかまえて進むので安心でした。消火器の使い方を選び、何人かが体験した。

最後は消火訓練。化学消防車、大田消防署、祖式、水上、大代、井田といずれもサイレンを鳴らし入って来られると緊張し興奮を覚えた。大きな焚火も一斉の放水で消され、長くて短いような半日が終わった。婦人会と井田女性部さんで非常食を作って下さりお疲れ様！有難うございました。

生命を守る早目の避難が大切だと教わった。今回は訓練だから避難が出来たが、いざ災害時はうろたえるだろうな、願わくば災害が起きない事を祈るばかりである。

秋晴れや 防災訓練 着々と

大代町民運動会を終えて

大代体育協会会長 熱田悠介

10月4日、多くの町民の皆様の参加を頂き、第65回大代町民運動会を盛大に開催することが出来ました。

運動場の整備、用具の管理まで色々心配することがありましたが、寿会の皆様の草刈や体協役員の準備のお蔭で無事、当日を迎えることが出来ました。また協力頂きました各自治会長、婦人会の皆様にも感謝申し上げます。

秋晴れの朝、開会式の後、風船割り、おいこでポン、ビン倒し、綱引き予選、玉入れと競技は順調に進みます。出場者に観客からも大きな声援が後押しとなり、段々盛り上がってきました。また旗取りでは可愛らしいお子様に癒されました。

午後からは縄ない競争、タイ釣り、シャチ送りとプログラムは続き、最後のリレーでは、迫力の展開、最後の一番となりました。

総合優勝した「水色組」の皆様おめでとうございます。出場した選手の頑張りや力強い応援に感激しました。各種目で優勝した皆様にもお祝を申し上げます。

今後とも魅力ある地域づくりのために、皆様の協力を頂きながら町民運動会が継続できるように大代町体協としても取り組んでいきます。

祝優勝！おめでとう「水色組」



〓シリーズその⑧〓 私の好きな大代の風景

下飯谷 飯田 徹

この季節、私の好きな大代の風景の一つに、稲刈りが終わった後の棚田の風景がある。

「稲刈り終わったかな？」、「終わったでな」、「まだだいな」などの時期になると聞こえる農家の時候のあいさつ。秋になって、稲穂がたわわに実り、黄金色の田圃が連なる景色は、

見る者にとつてとても美しい。しかし、耕作者にとつては、収穫を無事終えることが、一番の願いだ。

私は、父親が早くに亡くなったこともあり、小学生の頃から稲刈りは年間の必須作業だった。秋になると、「また稲刈りをしないといけないんだ」と憂鬱な気持ちになったことを思い出す。今でこそ減ったが、刈り取った稲を稲ハデに一把一把かけていく。その作業が、夕方になっても終わらず、真っ暗になってくると、電気を引っ張って全て掛け終えるまで作業は続く。腹も減る。やっと終わった時の疲労感と達成感。「今年も終わったー」という安堵感。そして、翌朝、稲が無くなった田圃を見て、「もう台風も、大雨も、大風も心配せんですむぞ」という安心感を抱いたものだった。

今、飯谷では、農事組合法人「やまべ」が結成され、理事長が先頭に立って農地を守るために奮闘しておられる。有難い限りだ。この取り組みをしつかりと私たちは受け継ぎ、いかに継承していくかを考えていかなければならないと思う。

収穫の秋も間もなく終わりを告げる。稲が刈り取られた棚田の風景を見下ろしながら、安堵の思いに包まれるとともに、来たる冬の予感を感じたのだった。



~~~~~

俳句

あすなる句会

柿田 横手いちえ

更けて尚 月夜美し 里に住む  
吹く風も 秋の気配や 散歩道

八反田 森 信子

歳月の 流れの早さ 萩咲きぬ  
我が里は 災害もなく 夜々の月

椿 花田時子

我が庭に 梨の成りしは もう昔

熱帯夜 続けておりし 昨日今日

下市 今田文子

梨届く まず仏壇へと 供へたり

稲刈るや 夕鐘聞けども 片づかず

川上 岩田律枝

生かされて 散歩の道や 秋の風

梨剥けば 指先に汁 滴れり

椿 柿丸寿枝

何時からか 二人で一つ 冷やし桃

峡の道 枝垂るる萩や 雨しとど

11月行事予定



- \* \* \* \* \*
- \* \* \* \* \*
- \* \* \* \* \*
- ▼ 8日(日) 東京石見高山会総会
- ▼ 8日(日) 福祉弁当
- ▼ 15日(日) 大代町文化祭
- ▼ 17日(火) さくららんぼ教室
- ▼ 23日(月) 連合自治会

大代地区社協より

川上 山下正判様から

香典返しにかえ御厚志を頂き、厚くお礼申し上げます。